

- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組に加えて、流域に関わる関係者が、主体的に取り組む社会を構築することが必要です。
- 「流域治水」の考え方にに基づき、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進します。
- 庄内川流域については全国に先駆けて「流域治水協議会」を設立し、令和3年3月25日にプロジェクトをとりまとめました。

土岐川・庄内川流域治水協議会

構 成 員 : 流域市町（18市5町）、岐阜県（県土整備部、都市建築部、林政部）、愛知県（建設局、農林基盤局）、東海農政局、中部森林管理局、岐阜地方气象台、名古屋地方气象台、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所
（34機関）

オブザーバー : 中部地方整備局 建政部・河川部、気象庁 名古屋地方气象台、日本下水道事業団 事業統括部、中部電力株式会社 事業創造本部、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局、東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務部、環境省
（10機関）

【第5回庄内川流域治水協議会の様子】

令和3年3月25日開催



- 10市町の首長より、本プロジェクトに対する各市町の流域治水対策について説明されました。
- これまで本協議会をリーディング地区として牽引してきた多治見市長、名古屋市長より構成員の代表として、流域治水を進める力強い発言がありました。



多治見市長
上流部・中流部・下流部しっかり連携して取り組んでいきたい。



名古屋市長
土岐川・庄内川を守ることは日本を守ることである。総合力で対策していかなくてはいけない。

【土岐川・庄内川流域治水協議会の流れ】

第1回協議会（令和2年7月6日開催）

- ・ 庄内川流域治水協議会の設立
- ・ 庄内川水系流域治水プロジェクト【素案】の提示
- ・ 検討方針確認
- ・ リーディング地区の選定

第2回協議会（令和2年9月14日開催）

- ・ 庄内川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】（案）の提示
- ・ 指定区間を含めた本会議の拡充

第3回協議会（令和2年10月13日開催）

- ・ リーディング地区での対策紹介
- ・ 庄内川流域で行う流域治水の全体像の共有・検討
- ・ 全体とりまとめイメージ及び今後の進め方確認

第4回協議会（令和2年12月14日開催）

- ・ 各自治体の課題の抽出・検討状況報告
- ・ オブザーバーの位置付け明記（新規参画含む）

第5回協議会（令和3年3月25日開催）

- ・ 「**庄内川水系流域治水プロジェクト**」とりまとめ

第6回協議会（令和3年7月2日開催）

- ・ 防災まちづくりに関する取組報告
- ・ グリーンインフラの観点の追加確認
- ・ ロゴマーク作成、シンポジウム開催の決定

第7回協議会（令和3年10月21日開催）～

- ・ 新規参画構成員（名古屋・岐阜地方气象台）・オブザーバー（JR東海、環境省）の取組の共有

シンポジウム（令和3年11月20日開催）

- ・ 流域治水MOVIE上映、基調講演、パネリストディスカッション、ロゴマーク決定

第8回協議会～

- ・ 庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく対策の実施状況フォローアップ 等